

新しい公共支援事業の成果等報告
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

1. 成果等報告

モデル事業名	島ヶ原地区の林業資源を生かした木工体験ツアーの推進
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 (該当するものにチェック)
事業実施主体名	穂積製材所プロジェクト実行委員会
実施期間	平成23年10月～平成24年3月
支援額 (注釈参照)	<p>総額: 650,000 円</p> <p>人件費 280,000 円</p> <p>諸謝金 50,000 円</p> <p>旅費 90,000 円</p> <p>消耗品費 100,000 円</p> <p>印刷製本費 30,000 円</p> <p>事業広報費 60,000 円</p> <p>計画策定費等 40,000 円</p>
マルチステークホルダー(会議体)の取組状況	穂積製材所プロジェクト実行委員会、島ヶ原木材工業有限会社、NPO 法人伊賀・島ヶ原おかみさんの会、三重県環境森林部、森林・林業経営室を中心に2011年度は活動をすることができた。2012年度は県内の類似テーマの活動団体とのネットワークづくりや森林管理に関する技術、知識の提供を頂く機会をより多く設け、本プロジェクトのスタッフの基盤づくりにも力を入れたい。
事業概要	<p>※ 事業の概要が分かるように、100～150字程度で簡潔にまとめて記載してください。</p> <p>三重県伊賀市島ヶ原地区の製材所を拠点に都市住民を対象とした木エスクールを開設します。地域産材を活用した「木工体験」と、林業の現場で森林問題について学ぶツアーとしても展開します。地域産材製品(家具等)のブランディングや製品開発、そして地域の主婦グループと連携した木工作品以外の特産品の研究開発などにもチャレンジしたいと考えています。</p>
事業内容	<p>※ 事業内容、実施事項、実施方法、実施の分担(直接、委託、助成を含めて)等について記載してください。</p> <p>※ 委託・助成した団体等がある場合、当該団体名等について記載してください。</p> <p>○木工体験モニターツアー</p> <p>実施内容: 木のぬくもりや香り、手触りを楽しんでもらえる木工体験ワークショップを実施。製材所内の見学を実施。</p> <p>対 象 者: 都市の学生。</p> <p>実施方法: 本プロジェクトのスタッフのネットワークを活用して都市の学生に呼びかけ、モニターツアーを実施。地域の木工作家に指導してもらいながら、間伐材を利用した木工作品を1人1つ作成。</p> <p>実施の分担: 穂積製材所プロジェクトスタッフ…企画、運営 島ヶ原木材工業有限会社…木材の提供、技術指導 NPO 法人伊賀・島ヶ原おかみさんの会…食事の提供</p>

○環境学習

実施内容: 森林に入り、手入れのされている林床とされていない林床を見学。
間伐体験。

対象者: 都市の学生。

実施方法: 製材所から車で10分程度の森林に行き、森の香り、音、光を感じてもらえる簡単なゲームを実施。手入れのされている林床とされていない林床を見学することで、日本の林業の現状についてレクチャーを行った。また、地域の島ヶ原木材有限会社にサポートして頂きながら実際に間伐体験をし、木材を切り出して製材所まで運搬という流れを体験。

実施の分担: 穂積製材所プロジェクトスタッフ…企画、運営
島ヶ原木材工業有限会社…林床案内、技術指導

○木エワークショップ

実施内容: 地域のお祭りに参加し、木エワークショップを実施。

対象者: 地域住民

実施方法: 地域のお祭りに参加し、お祭り会場の一角で本プロジェクトのスタッフである地元の木作家を中心に簡単な木エワークショップを実施。

実施の分担: 穂積製材所プロジェクトスタッフ…企画、運営
島ヶ原木材工業有限会社…木材の提供
NPO 法人伊賀・島ヶ原おかみさんの会…会場の提供

○他工房への視察

実施内容: 岡山県西粟倉村の工房へ見学会を実施。

対象者: 本プロジェクトスタッフ

実施方法: 西粟倉村の木作家さんをご紹介いただき、工房に見学に行った。森林や工房を見学し、島ヶ原と西粟倉村の違いをヒアリング・分析。本プロジェクトの強みと改善点を整理するし今後の展開に活かしたい。

実施の分担: 穂積製材所プロジェクトスタッフ…企画、運営
(見学先: 木工房ようび)

○まちあるき

実施内容: 島ヶ原のまちあるきを3回実施

対象者: 本プロジェクトスタッフ

実施方法: 地域住民の方の協力を得ながら、まちあるきのコンセプトを決め、3箇所まちあるきを実施。地域の方と一緒に歩くことで地域の歴史を知ることができたり、まちあるきの最中に地域の方と触れ合うことができた。

実施の分担: 穂積製材所プロジェクトスタッフ…企画、運営
地域住民…企画(相談)、地域の案内

○他施設への視察

実施内容: フォレスト伊賀での間伐体験。

実施方法: 三重県森林経営室の方のご紹介でフォレスト伊賀へ間伐体験、見学会を実施。隣接する木材市場に行くことで、林業の一連の流れの一部を知る。

実施の分担: 穂積製材所プロジェクトスタッフ…参加者
三重県林業経営室…フォレスト伊賀のご紹介、企画

<p>得られた成果及び自己評価</p>	<p>※支援の成果、波及効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>○木工体験モニターツアー、環境学習(評価:A) 今回、日帰りのワークショップを実施することで、短時間でどのようなプログラムを組め、どんなことが伝えられるのかが実証できた。今回は対象者が学生だったこともあるが、参加者の内数名はツアー後に本プロジェクトのスタッフとして関わってくれている。短時間でも木工の楽しさ、林業の課題について伝えられたと実感しています。次回からは、森林問題についてのパンフレット等を作成し、より森林問題について理解して頂けるよう努めたい。</p> <p>○木工ワークショップ(評価:B) 木工ワークショップを楽しんで頂け、プロジェクト地域の方向けに本プロジェクトの取組みを直接住民の方に伝えられる機会を設けることができた。次回からは口頭で本取組みを伝えるだけでなく、持ちかえていただけるリーフレット等を準備したい。連絡先等を記載し、今後のプロジェクトにも参加いただけるような仕組みをつくりたい。</p> <p>○まちあるき(評価:A) 地域のことをより知りたいという思いから実行した。これまで出会ったことのない方に出会えたことは、都市の学生スタッフにとって島ヶ原をより身近に感じることができる機会となった。まちあるきで発見したことはマップにまとめ、今後島ヶ原に訪れた方にお渡しできる資料としたい。</p> <p>○他工房への視察、他施設への視察(評価:A) これまでにない視点で本プロジェクトを振り返る、いい機会となった。他の工房を見学することで、本プロジェクトの強み、弱みを改めて知ることができたので、今後展開に活かしていきたい。また、間伐や林業の一連の流れを実際に体験できたことで、本プロジェクトスタッフの林業問題の理解度が深まった。</p>	
<p>評価 ラン ク</p>	<p>評価</p>	<p><input type="checkbox"/> S : 特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A : 優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B : 一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C : 限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D : 成果が得られなかった (該当する評価に☐を付けてください。)</p>

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

2. 添付書類

その他参考となる書類 ※ 都道府県において適宜設定すること。